資料４

平成21年12月1日

草津市水道ビジョン策定委員会
説明資料

草津市上下水道部

３　本委員会の趣旨と検討事項について

本委員会の趣旨

＜草津市水道事業の抱える課題＞

- S39の一部給水開始より45年経過。
- 一部の施設･設備･管路は老朽化。
- 水需要量は伸び悩み、料金収入の大幅な増加は見込めない。
- 職員数削減、市長部局との人事異動に伴い、技術継承が困難に。

…etc.

2

3　本委員会の趣旨と検討事項について

本委員会の趣旨

安価な水道　vs.　水質の向上
効率的な経営　vs.　技術の継承
長寿命化と計画的な更新　　…etc

相互に絡み合う課題が山積み
→　経営戦略を策定し、
計画的に実行する指針となる
草津市水道ビジョン　が必要

3

3　本委員会の趣旨と検討事項について

本委員会の趣旨

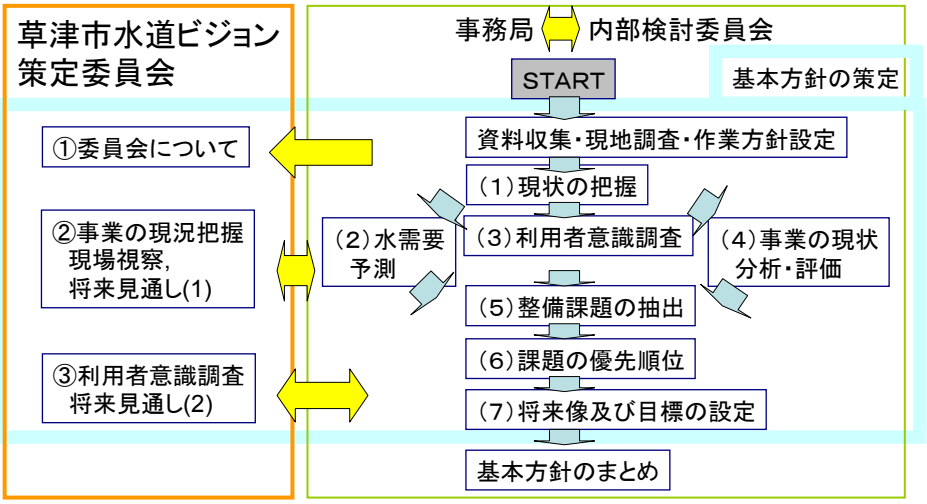
- 事業の現状分析・評価
- 将来像及び目標の設定
- 実現方策の検討

についてご審議いただき、
いただいた提言、助言を
「草津市水道ビジョン」に反映します。

4

3　本委員会の趣旨と検討事項について

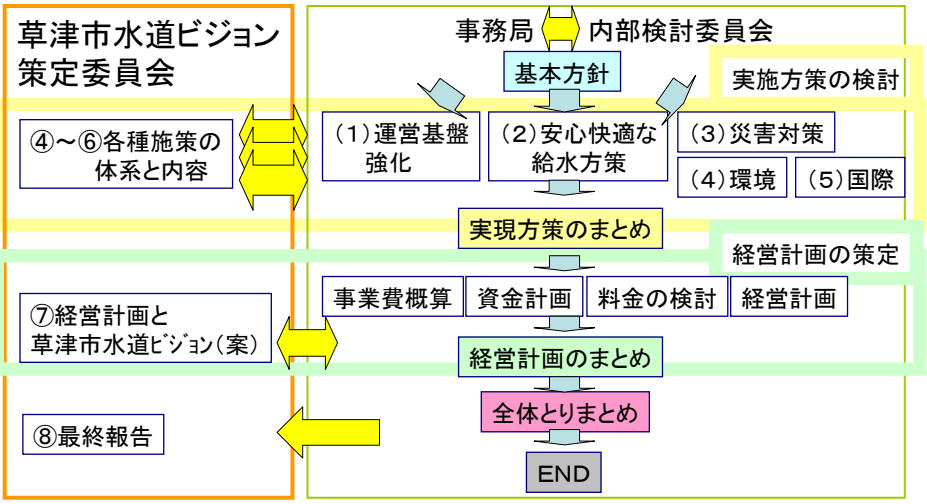
草津市水道ビジョンの検討フロー（平成２１年度）



5

3　本委員会の趣旨と検討事項について

草津市水道ビジョンの検討フロー（平成２２年度）



6

3　本委員会の趣旨と検討事項について

検討事項　平成２１年度

＜第1回＞
「草津市水道ビジョン策定委員会について」
＜第2回＞
「事業の現況把握と現場視察、
及び将来見通し(1)」
＜第3回＞
「利用者意識調査と将来見通し(2)」

7

3　本委員会の趣旨と検討事項について

検討事項　平成２２年度

＜第4～6回＞
「各種施策の体系と内容について(1)～(3)」
＜第7回＞
「経営シミュレーションと
草津市水道ビジョン（案）」
＜第8回＞
「最終報告」

8

4（1） 水道ビジョン策定の背景説明

国の「水道ビジョン」　平成16年6月策定

1．水道ビジョンの目的

- 「今後の水道の質的向上のための方策について」（平成2年11月）
- 「21世紀に向けた水道整備の長期目標（ふれっしゅ水道）」（平成3年6月）

「21世紀における水道及び水道行政のあり方」
（水道基本問題検討会、平成11年7月）

我が国の水道を取り巻く環境の変化　／　平成13年水道法一部改正　／　水道事業の抱える課題の深刻化

現状及び将来の見通しの分析・評価

今後の水道の在るべき姿

関係者の共通目標の設定
今後の政策課題の明確化
具体的な施策、方策等の明示

9

4（1） 水道ビジョン策定の背景説明

国の「水道ビジョン」

2．水道の現況と将来の見通し

（1）安全な水、快適な水が供給されているか
- 水道水源の水質の悪化と水源から給水栓までの水質管理の課題
- 貯水槽水道及び給水管・給水用具の管理不徹底
- 未普及地域の存在と未規制水道における衛生管理の不徹底の問題
- 汚染リスクに係るリスクコミュニケーション

（2）いつでも使えるように供給されているか
- 水道の広域化・統合
- 災害対策等非常事態への対応の充実の必要性
- 水資源をめぐる課題

（3）将来も変わらず安定した供給ができるようになっているか
- 更新期を迎えた37兆円の水道資産と人口の減少
- 運営形態の多様化、資金の確保
- 需要者のニーズへの的確な対応、需要者の視点に立った事業運営
- 水道文化、水道技術継承の危機
- 技術革新、技術開発

（4）水道は環境保全などの社会的責任を果たしているか
- 高まる環境問題への対応の重要性
- 水道事業による率先的な取組み

（5）世界の中で我が国の水道はどのような役割を果たすべきか
- 途上国における深刻な水不足
- 水道分野における国際調和の推進

10

4（1） 水道ビジョン策定の背景説明

国の「水道ビジョン」

3. 目指すべき方向性

－水道関係者の共通目標－

世界のトップランナーを目指して
チャレンジし続ける水道

自らが高い目標を掲げて、常に進歩発展
将来にわたって需要者の満足度が高くあり続け、
需要者が喜んで支える水道

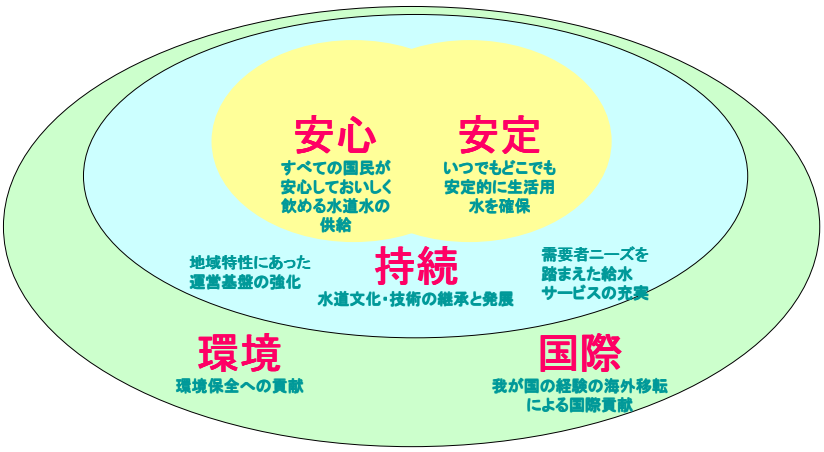
あらゆる分野で世界のトップレベルの水道
＜安心＞＜安定＞
＜持続＞
＜環境＞＜国際＞

11

4（1） 水道ビジョン策定の背景説明

国の「水道ビジョン」

4. 長期的な政策目標



12

4（1） 水道ビジョン策定の背景説明

国の「水道ビジョン」　平成20年7月改訂

水道ビジョン改訂版の目次構成

水道ビジョンの改訂について
1. 水道ビジョンの目的
2. 水道の現況と将来の見通し
3. 目指すべき方向性
4. 長期的な政策目標
5. 政策目標達成のための総合的な水道施策の推進
6. 各種方策の連携による　目標の早期達成
7. レビューに基づく水道施策の重点取組項目
8. 関係者の参加による目標の達成
9. フォローアップ

・ビジョン改訂の背景・経緯等を概説

1,2章＜時点修正＞
・現行ビジョン策定以降の水道及び水道事業を取り巻く状況の変化・新たな動き等を踏まえ、記述内容を時点修正(最新データの反映含む)
・諸課題をもたらす要因等の加筆

3,4章＜原則変更なし＞
（方向性・長期目標に関する記述）

5,6章＜時点修正＞
・2章の追記内容等を踏まえた修正
・7章の重点取組項目のベースとなる取組方向性等を追記
・施策目標の内容の明確化

7章＜5施策群レビュー結果により新たに追加＞

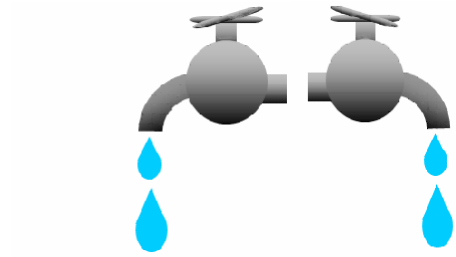
8章＜地域水道ビジョンの追加＞
・水道事業者等の積極的な取組による本ビジョンの達成に向け「地域水道ビジョン」の策定を推奨
・広域的観点から流域単位や都道府県単位などでの作成も推奨

9章＜時点修正＞
・次回レビューは、中長期的な対応に向け進捗の公表しつつ本ビジョン改訂後3年目を目処に実施

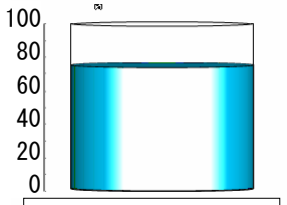
13

4（1） 水道ビジョン策定の背景説明

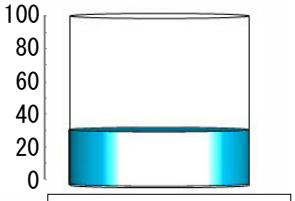
地域水道ビジョン策定状況



平成21年10月現在



給水人口の割合　74%



事業数の割合　33%

14

4(2)　草津市水道事業の概要

沿革

昭和35年12月　創設事業認可（北山田浄水場の新設）
　　計画給水人口　　14,500人
　　一日最大給水量　　3,190m3/d
昭和45年　2月　第一次拡張事業認可（ロクハ浄水場の新設）
　　計画給水人口　　67,000人
　　一日最大給水量　　20,100m3/d
昭和50年　2月　第二次拡張事業認可（ロクハ浄水場の拡張）
　　計画給水人口　　87,000人
　　一日最大給水量　　47,850m3/d

15

4(2)　草津市水道事業の概要

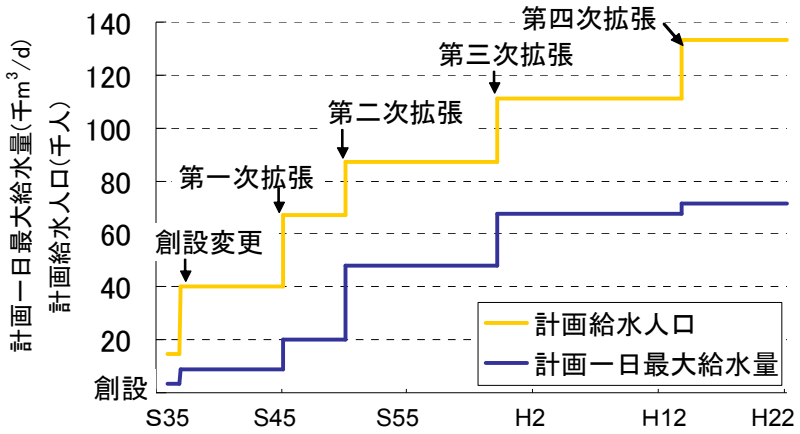
沿革

昭和62年　3月　第三次拡張事業認可（北山田浄水場の拡張）
　　計画給水人口　　111,200人
　　一日最大給水量　　67,450m3/d
平成13年11月　第四次拡張事業認可
　　（県南部上水道供給事業から一部を受水開始）
　　計画給水人口　　133,100人
　　一日最大給水量　　71,400m3/d

16

4(2)　草津市水道事業の概要

沿革



17

4(2)　草津市水道事業の概要

施設の概要

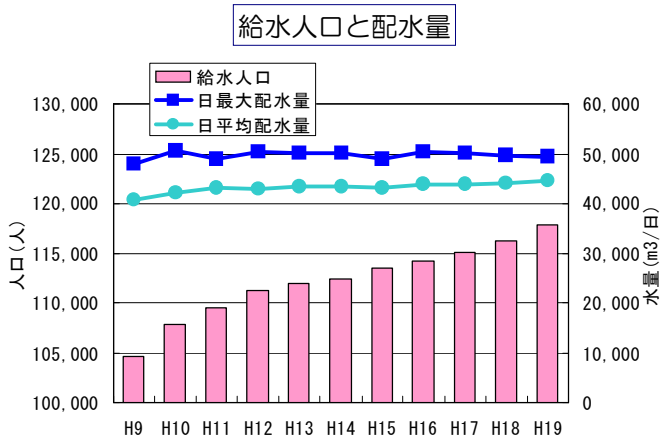
18

4(2)　草津市水道事業の概要

施設の課題

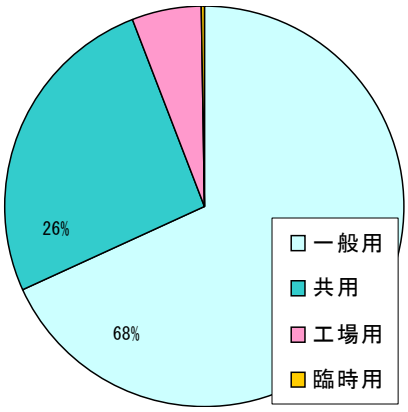
4(2)　草津市水道事業の概要

人口と水需要



4(2)　草津市水道事業の概要

人口と水需要



有収水量の内訳

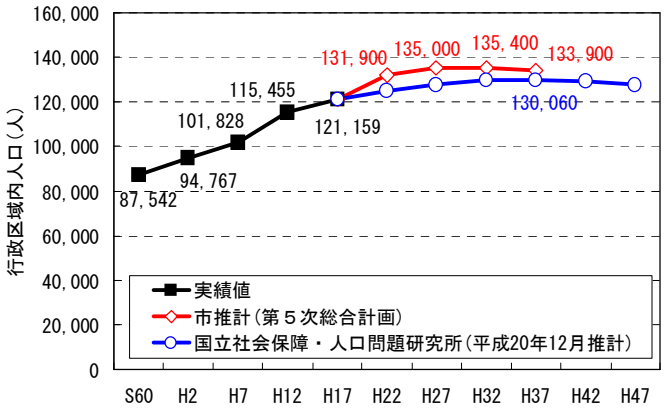
平成19年度

21

4(2)　草津市水道事業の概要

人口と水需要

行政区域内人口の見通し



22